

平成30年度 年間指導計画

A科:生物科学科 B科:環境科学科 C科:食農科学科

教科名	家庭	科目名	家庭基礎	単位数	2	履修学年・クラス	1年A・B組
担当者		使用教材	家庭基礎 自立・共生・創造(実教出版)				
学習目標	○人の一生と家族、福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させる。 ○家庭生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。						
学習方法	○家族・家庭の意義、家族・家庭と社会との関わりについて理解し、自分らしく生きることや人との関わりについて考える。 ○衣食住に必要な知識と技術を習得し、家庭生活の充実向上を図る力と実践的な態度を身に付ける。						
学習評価	評価の観点		科目の評価の観点の趣旨				
	関	関心・意欲・態度	人の一生と家族・家庭および福祉、衣食住、消費生活などについて関心をもち、その充実向上を目指して主体的に取り組むとともに、実践的な態度を身に付けている。				
	思	思考・判断・表現	人の一生と家族・家庭および福祉、衣食住、消費生活などについて課題を見だし、その解決を目指して思考を深め、適切に判断し、工夫し創造する能力を身に付けている。				
	技	技能	人の一生と家族・家庭および福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な技術を身に付けている。				
	知	知識・理解	人の一生と家族・家庭および福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な知識を身に付けている。				
※定期考査については、上記の観点それぞれについて学習内容に応じて適切に配分しています。							

学期	単元(題材)	学習内容	評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			関	思	技	知		
前期中間	○自分を見つめる ○自立した生き方、共に生きる人生 ○共に生きる家族 ○家族に関する法律 ○私たちの生活を支える労働と生活時間 ○高齢者を知る ○経済のしくみを知る	・これからの自分をつくる ・人生80年を生きる ・自分らしく生きること、共に生きること ・家族って何だろう ・ライフサイクルと家族 ・家族に関する法律 ・民法改正の動き ・職業に就く ・外部化する家庭機能 ・高齢者の生活 ・家庭経済とは ・人生設計と経済設計	○	○			[関]人生80年について考え、自分らしく生きることと、共に生きることについて主体的に関心を持っている。 [思]職業に就くことやライフサイクルについて適切に判断している。 [技]高齢者の生活や家庭経済を踏まえ、人生設計をすることができる。 [知]家族に関する法律や家庭経済について必要な知識を身に付けている。	・プリント ・授業観察 ・ワークシート ・考査
	○私たちの食生活 ○栄養と食品の関わり ○食品の選び方と安全 ○食事の計画と調理	・私の食生活 ・食品の栄養素と体の成分 ・炭水化物とその食品 ・脂質とその食品 ・たんぱく質とその食品 ・ミネラルとその食品 ・ビタミンとその食品 ・食品の表示と保存 ・食品の衛生と安全 ・食事摂取基準と食品摂取量のめやす ・家族の食事計画 ・調理から後かたづけまで	○	○			[関]私の食生活について関心を持ち、主体的に行動しようとしている。 [思]私の食生活に関する五大栄養素の摂取状況や課題をまとめている。 [技]栄養素や食事摂取基準と食品摂取量の目安を踏まえ、家族の食事を計画することができる。 [知]食品の栄養素や選び方について必要な知識を身に付けている。	・プリント ・授業観察 ・実技観察 ・考査
後期中間	○衣服の管理 ○人と住まいのかかわり ○住まいを計画する ○健康的な住まい環境 ○安全な住まい環境 ○社会の変化と消費生活	・衣服の手入れ ・ライフスタイルと住まい ・住空間の成り立ちと平面計画 ・健康に配慮した快適な室内環境 ・安全に配慮した室内環境 ・適切な選択をするために ・「買う」ことは「契約」 ・多様化する販売方法 ・適切な契約 ・支払い方法の多様化と消費者信用	○	○			[関]現在の住まいを振り返り、将来のライフスタイルと住まいについて考えようとしている。 [思]住空間の成り立ちと快適な室内環境について適切に判断している。 [技]安全で健康的な住まいの平面計画をすることができる。 [知]衣服の手入れや消費者問題について必要な知識を身に付けている。	・プリント ・授業観察 ・ワークシート ・考査
	○子どもを知る ○発達のすばらしさ ○子どもの生活 ○親になることを考えよう ○すこやかに育つ環境	・未熟なだけではない子ども ・すこやかな育ちのために ・人の発達と保育 ・からだの発達 ・心の発達 ・子どもの成長と生活 ・子どもと遊び ・子どもの人間形成と親の役割 ・子どもを産み育てること ・子どもが育つ環境 ・出産と子育てのための社会的支援 ・子どもの権利と福祉	○	○			[関]将来親になることを考え、子どもを産み育てるということについて関心を持っている。 [思]すこやかに育つ環境、親の役割について適切に判断している。 [技]子どものからだや心の発達について適切に判断している。 [知]人の発達と保育、子どもの権利と福祉について必要な知識を身に付けている。	・プリント ・授業観察 ・考査